

令和 7 年度事業報告書

令和7年度事業計画の体系

基本理念	基本目標	基本施策	事業名
誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる地域づくり	支え合い、助け合いの地域福祉の推進	1.法人運営体制等の強化 (法人経営部門)	職員の資質向上 理事会・評議員会・監事会・評議員選任・解任委員会の開催 苦情解決第三者委員会の開催 役員等研修の実施 自主財源の確保 広報啓発事業
		2.地域支援体制の構築 (地域福祉活動推進部門)	ボランティアセンター事業 災害ボランティアセンター事業 ほっと・あったかサービス事業 地域支え合い高齢者等見守り事業 いきいきサロン支援事業 車両・物品貸出事業 雪対策支援事業 出前講座事業 ふれあい安心電話事業 二ツ井総合福祉センター事業 外出支援サービス事業 生活支援ハウス運営事業 社会福祉大会 まるごと福祉まつり 社会福祉法人連絡会 重層的支援体制整備事業 ・多機関協働事業 ・参加支援事業 ・地域づくり事業 ・アウトリーチ等支援事業 生活支援体制整備事業
		3.自立支援の推進 (総合相談支援部門)	成年後見制度利用支援事業 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業） 法人後見事業 生活困窮者自立相談支援事業 生活困窮者就労準備支援事業 生活困窮者家計改善支援事業 たすけあい資金貸付事業 生活福祉資金貸付事業 制服リユース事業 フードバンク・フードドライブ事業 共同募金生活支援事業 ・無料法律相談事業 ・高齢者世帯住宅小破修理事業 ・避難行動要支援者避難支援訓練事業 歳末たすけあい事業 災害見舞金支給事業
		4.介護保険事業等の安定経営【重点事業】 (生活支援介護部門)	居宅介護支援事業 訪問介護事業 二ツ井デイサービスセンター事業 緑町デイサービスセンター事業 ふれあいデイサービスセンター事業 緑町グループホーム事業 松籟荘事業（一般型特定施設） 松原ホーム事業

【20周年記念事業】

【重点事業】

【重点事業】

【重点事業】

【重点事業】

【重点事業】

【拡充事業】

【拡充事業】

1.法人運営体制等の強化

●職員の資質向上（自主財源事業）

職員の階級、階層ごとに、それぞれのキャリアパスの段階に応じて共通に求められる能力を段階的・体系的に習得するため、キャリアアップ研修に参加した。また、職員へ期待成果や期待行動を理解させ、適切に評価するため、人事評価制度を実施した。

■キャリアパス対応生涯研修（単位：人）

研 修 名	受講者数
キャリアパス研修初任者コース	2
キャリアパス研修中堅職員コース	7
キャリアパス研修管理職員コース	1
合 計	10

●理事会・評議員会・監事会・評議員選任・解任委員会の開催（自主財源事業）

■理事会の開催

回	開催日	出席者	議 案
1	令和7年 6月11日	10名	報告第 1号 社会福祉法人能代市社会福祉協議会会長の職務執行状況について 議案第 13号 社会福祉法人能代市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について 議案第 14号 社会福祉法人能代市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 議案第 15号 社会福祉法人能代市社会福祉協議会理事及び監事選任候補者の推薦について 議案第 16号 能代市社会福祉協議会育児・介護休業規則の一部改正について 議案第 17号 令和6年度社会福祉法人能代市社会福祉協議会事業報告及び収支決算について 議案第 18号 社会福祉法人能代市社会福祉協議会評議員会の招集について
2	令和7年 6月26日	10名	議案第 19号 社会福祉法人能代市社会福祉協議会会長及び副会長の選定について
3	令和7年12月11日	10名	報告第 2号 社会福祉法人能代市社会福祉協議会会長の職務執行状況について 議案第 20号 令和7年度社会福祉法人能代市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算について 議案第 21号 社会福祉法人能代市社会福祉協議会評議員会の招集について
4	令和8年 3月12日	9名	議案第 1号 社会福祉法人能代市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 議案第 2号 能代市社会福祉協議会給与規程の一部改正について

			議案第 3号 令和7年度社会福祉法人能代市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算について
			議案第 4号 令和8年度社会福祉法人能代市社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算について
			議案第 5号 社会福祉法人能代市社会福祉協議会評議員会の招集について

■評議員会の開催

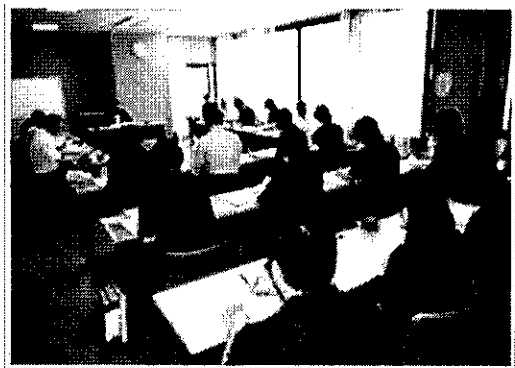
回	開催日	出席者	議 案
1	令和7年 6月26日	12名	議案第 6号 社会福祉法人能代市社会福祉協議会理事及び監事の選任について
			議案第 7号 令和6年度社会福祉法人能代市社会福祉協議会事業報告及び収支決算について
2	令和7年12月19日	18名	議案第 8号 令和7年度社会福祉法人能代市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算について
3	令和8年 3月23日	19名	議案第 1号 令和7年度社会福祉法人能代市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算について
			議案第 2号 令和8年度社会福祉法人能代市社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算について

■監事会の開催

回	開催日	出席者	内 容
1	令和7年 5月29日	3名	令和6年度会長の職務執行状況について 令和6年度事業報告及び収支決算について
2	令和7年11月28日	2名	令和7年度中間監査について (令和7年4月1日～令和7年9月30日まで)

■評議員選任・解任委員会の開催

回	開催日	出席者	議 案
1	令和7年 6月11日	3名	議案第 1号 社会福祉法人能代市社会福祉協議会評議員の選任について
2	令和8年 3月13日	3名	議案第 1号 社会福祉法人能代市社会福祉協議会評議員の選任について



●苦情解決第三者委員会の開催（自主財源事業）

利用者等からの苦情の解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や状況に配慮した適切な対応を図るため開催した。

回	開催日	出席者	内 容
1	令和7年4月27日	3名	令和6年度苦情の報告について 令和7年度苦情受付担当者の変更について

●役職員の研修の実施（自主財源事業）

法人運営に関する課題や福祉サービス等質の向上を図るため、各種研修会等へ参加した。

種 別 人数等	法人総務関係	地域福祉関係	母子福祉関係	介護福祉関係	合 計
回 数	5回	61回	11回	54回	131回
参加人数	8人	86人	13人	57人	164人

●自主財源の確保（自主財源事業）

会費は、地域福祉活動の貴重な自主財源であることから、出前講座等で事業紹介等を行い会員制度についてのPR活動に努めた。

■社協会費

種 別 年 度	令和7年度	令和6年度	比 較
一般会費	5,410,350円	5,464,900円	▲ 54,550円
賛助会費	132人	159人	▲ 27人
	166,000円	183,000円	▲ 17,000円
特別会費	82団体	80団体	2団体
	506,000円	504,000円	2,000円
合 計	6,082,350円	6,151,900円	▲ 69,550円

■寄付金

種 別 年 度	令和7年度	令和6年度	比 較
香典返し	31件	55件	▲ 24件
	783,000円	1,072,000円	▲ 289,000円
一般寄付	10件	11件	▲ 1件
	163,941円	224,179円	▲ 60,238円
合 計	946,941円	1,296,179円	▲ 349,238円

●広報啓発事業（自主財源事業）

■社協だよりの発行

「広報編集委員会」でわかりやすく親しみやすい紙面作成に努め、全戸へ配布した。

号数	発行日	主な内容
NO.91	令和7年 4月 25日	令和7年度事業計画・予算・事業周知等
NO.92	令和7年 6月 25日	社協会費協力のお祝い・事業周知等
NO.93	令和7年 9月 25日	赤い羽根共同募金のお祝い・令和6年度事業報告・決算等
NO.94	令和7年 11月 25日	歳末たすけあい募金のお祝い・事業周知等
NO.95	令和8年 1月 1日	新年のあいさつ・事業周知等

■ホームページの運営

最新の各種事業や福祉サービスの情報を提供し、より見やすく、わかりやすく、使いやすくなるよう、社協の活動をより多くの市民に理解してもらえよう随時更新を行った。

(単位:回)

内 容 \ 年 度	令和7年度	令和6年度	比 較
アクセス数	12,179	10,752	1,427
月平均	1,014	896	118

■SNSの活用

SNSによる地域福祉情報・ボランティア情報等のリアルタイムな情報発信に努めた。

【インスタグラム】

(単位:回)

内 容 \ 年 度	令和7年度	令和6年度	比 較
投稿数	149	163	▲ 14
月平均	12.4	13.5	▲ 1.1

【フェイスブック】

(単位:回)

内 容 \ 年 度	令和7年度	令和6年度	比 較
投稿数	0	47	▲ 47
月平均	0	3.9	▲ 3.9

2.地域支援体制の構築

●ボランティアセンター事業（市受託事業）

ボランティア活動を通して支え合う関係づくりを支援したほか、ボランティアの登録・斡旋、ボランティア保険の加入、ボランティア通信等の発行、必要な知識や技術を身に着けることが出来るよう各種講座、研修会を開催した。

■ボランティア登録

種 別 \ 年 度	令和7年度	令和6年度	比 較
個 人	288人	286人	2人
団 体	60団体(3,238人)	52団体(2,814人)	8 団体(424人)

(活動報告)

種 別 \ 内 容	除雪・草取り等	コミュニケーション	介護・介助他	合 計
個 人	3人	7人	0人	10人
団 体	12団体	3団体	0団体	15団体

■ボランティア講座

(能代地区)

(単位:人)

講座名	実施日	主な内容	受講者
ボランティアスクール	令和7年 7月 24日	ボランティアについて	4
	8月 22日	eスポーツ×フレイル予防講座	7
	9月 12日	火災時の対応、心肺蘇生とAEDの使い方について	5
	9月 30日	避難所支援について	11
	10月 26日	まるごと福祉まつりでのボランティア体験	2
ジュニアボランティア スクール夏期講座	令和7年 7月 29日 7月 31日	赤い羽根共同募金について、UVレジン体験 ニュースポーツ「ラダーゲッター」	16 11
災害ボランティアスクール	令和8年 12月 12日	災害ボランティアセンターの仕組みと役割について 地域の様々な担い手の参加と協力 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 ※災害ボランティア活動実地訓練と合同で開催	41
ジュニアボランティア スクール冬期講座	令和7年 12月 26日 令和8年 1月 9日	手話について学ぼう だまこ鍋作り・ニュースポーツ「ユニカール」	10 22
施設ボランティア養成 講座	令和8年 3月 13日	能代地域生活支援センターの説明、見学 味噌玉作り体験	14
ボランティアのつどい	令和8年 3月 17日	能代市の児童生徒、保護者に対しての 教育支援および能代市教育支援セン ターはまなす広場の取り組みにつ いてグループワーク	26
介護技術基本講座	令和8年 3月 30日	同行援護と移動支援について	9
合 計			178

(二ツ井地区)

(単位:人)

講座名	実施日	主な内容	受講者
リフレッシュ講座	令和7年 7月 29日	なごみアート、ボランティア体験	8
防災講座	令和7年 9月 16日	防災準備と心構え	17
高齢者料理教室	令和7年 11月 13日	身体にやさしい料理を作しましょう	18
	令和8年 2月 27日		16
合 計			59

■ ボランティア通信の発行

号 数	発行日	主な内容
168号	令和7年 7月 11日	まるっとふれあい鉄道運行報告等について
169号	令和7年 9月 29日	ボランティアスクール参加募集等について
170号	令和7年 11月 10日	まるごと福祉まつり開催報告等について
171号	令和7年 12月 15日	除雪ボランティア雪んこレンジャーの募集等について
172号	令和8年 2月 9日	雪害事故防止等について
173号	令和8年 3月 11日	ボランティア保険更新のご案内等について

■ ジュニアボランティア通信の発行

号 数	発行月	主な内容
41号	令和7年 7月	夏期休暇中の講座参加者募集について
42号	令和7年 12月	冬期休暇中の講座参加者募集について

■ ボランティア保険の加入

(単位:人)

内 容	年 度	令和7年度	令和6年度	比 較
ボランティア活動保険加入者数(社協)		1,961	2,204	▲ 243
〃 (個人)		51	63	▲ 12
ボランティア行事保険加入者数		2,353	844	1,509
福祉サービス総合補償加入数		123	69	54
合 計		4,488	3,180	1,308

<事業概要>

地域の生活課題に対し、ボランティア活動をとおして支え合う関係づくりを支援します。

- ボランティアの登録・斡旋
- ボランティア通信の発行(年6回)
- ジュニアボランティア通信の発行(年2回)
- ボランティア講座の開催
 - ・災害ボランティアスクール
 - ・ボランティアスクール
 - ・ジュニアボランティアスクール
 - ・施設ボランティア養成講座
 - ・介護技術基本講座
 - ・語り合いましょう・ボランティア
 - ・防災講座(二ツ井)
 - ・リフレッシュ講座(二ツ井)
 - ・高齢者料理教室(二ツ井)
- ボランティア保険加入受付



●災害ボランティアセンター事業（自主財源事業）

災害発生時のボランティア活動を迅速かつ円滑に行えるよう、災害ボランティアセンターの仕組みや役割等を把握し、平時における社協と行政の情報共有、災害に対する共通理解を図った。社協・行政・地域の協働体制の構築を図り、発災時の初動対応やボランティア活動の体制整備につなげることを目的に災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を行った。

日 時	令和7年12月12日(金)午前10時25分～午後4時30分
場 所	能代ふれあいプラザサンピノ
参 加 者	41名
内 容	講 義 「災害ボランティアセンターの仕組みや役割について」 「地域の様々な担い手の参加と協力について」 演 習 「災害ボランティアセンターの設置・運営訓練」 講 師 にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏



●ほっと・あったかサービス事業（自主財源事業）

令和7年度の利用実績はありませんでした。

(単位:人)

内 容	年 度	延利用者数		比 較
		令和7年度	令和6年度	
買い物・掃除・洗濯・調理等		0	7	▲ 7
合 計		0	7	▲ 7

<事業概要>

病気やけが、出産育児など、一時的に日常生活を営むのに支障をきたし、援助を必要とする高齢者・障がい者のいる世帯、ひとり親世帯及び育児中の世帯などに訪問援助員を派遣し、家事などを支援します。

※この事業は社協会員会費を利用して行うものです。

～あなたの暮らしに安心を届けます～

ほっと・あったかサービス事業

一時的な病気やケガなどで
買い物に行けないよ。



退院直後で、
身の回りの整理が
できないよ。



産後に体調不良で
手伝いがほしい。



○利用できる方
在宅の高齢者世帯、障がい者世帯、育児中の世帯等で、病気やケガ等のため、一時的に家事援助等の援助が必要な世帯を対象としています。

○利用料金
1時間1,000円。その後30分ごとに500円加算となります。
※買い物などで車両が必要になった場合は、利用者負担となります。

○利用時間
平日の午前9時から午後5時まで(土日・祝日休み)

利用の申込は電話でご連絡ください。

◇お申込み先◇
社会福祉法人 能代市社会福祉協議会
能代市上町12番32号 能代ふれあいプラザ2F
☎0185-89-6000




●地域支え合い高齢者等見守り事業（市受託事業）

要支援登録者を定期的に巡回し、安否の確認と相談に応じながら、要支援者台帳を整備し、関係機関・団体との情報共有と連携を図り地域ネットワークづくりに努めた。

■登録者：328人（能代地区285人、二ツ井地区43人）

（単位：件）

内 容	年 度	令和7年度	令和6年度	比 較
年間訪問件数		4,300	4,360	▲ 60
相談件数		42	56	▲ 14

■相談内訳

（単位：件）

高齢者福祉サービス	介護保険サービス	障害者福祉サービス	生活相談	私的问题等	その他	合計
16	9	2	2	10	3	42

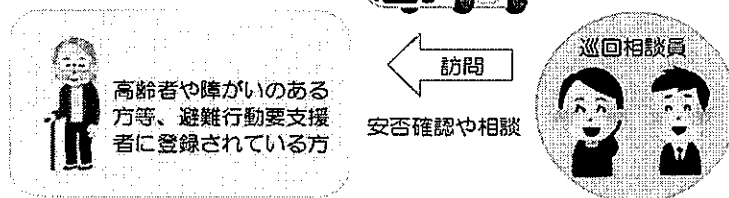
<事業概要>

要支援登録者を定期的に巡回し、安否の確認と相談に応じながら、要支援者台帳を整備し、関係機関・団体との情報共有と連携を図り、地域ネットワークづくりに努めます。

○能代地区…3名

○二ツ井地区…1名

の相談員が巡回します。



避難行動要支援者避難支援制度のご案内
～災害時、地域の助け合いが必要です～

能代市では、災害時やそのおそれがある場合に、高齢者や障がいをお持ちの方など、手助けを必要とする方（避難行動要支援者）の避難支援対策のため、自主防災組織、自治会・町内会、福祉関係者等が協力し助け合い、地域の安全・安心体制を強化することを目指して『能代市避難行動要支援者避難支援プラン（主体計画）』を策定しました。

◆災害時に地域での助け合いがとても大切です
災害時、自分の命は自分で守ること（自助）と、地域でお互いに助け合うこと（共助）が重要になります。そのために、日ごろから自治会・町内会活動や防災訓練等に参加するなどして、積極的に地域の方々と交流する機会を増やしましょう。

1. 避難行動要支援者避難支援プランの取組の留意点
次に掲げる方の中から、災害が発生した場合に必要な情報を迅速かつ的確に把握することや、災害から自らを守るために安全に避難することなど、災害時の一連の行動とるに支援を要する方を対象とします。（左の方に限ります。）
 - (1) 介護保険に付ける要介護認定者
 - (2) 障がい者手帳をお持ちの方
 - (3) ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の方
 - (4) その他市長が必要と認める以下に該当する方
 - A 近親者及び乳幼児
 - B 近親者
 - C 日本籍に不慣れな在外日本人
 - D その他防災時の避難に際し支援が必要と認める方
2. 受けられる支援の概要
 - 平常時 避難経路ルートや避難ルートの確認、避難訓練の参加、口頭から声かけや災害発生などの見守りを行います。
 - 災害時 避難経路ルート等の確認、避難訓練、安否確認、避難時の支援等が受けられます。

（要項をお読み下さい）

※支援を必要とする方は、市への登録が必要です。

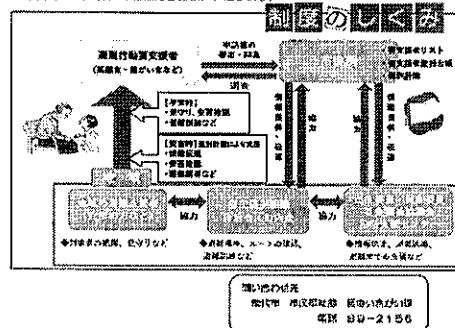
＜登録を希望される皆様へ＞
申請書の記入が必須です。
最寄りの福祉課または社会福祉協議会へご相談ください。

※この制度は地域の協力により支援を受け受けるものであり、避難支援してくれる方が、自ら責任を負うものでありません。また、災害時の状況によっては、支援が受けられない場合もあることを理解くださるようお願いいたします。

※登録に際しては、本人の同意、自主防災組織、自治会・町内会、民生委員等、社会福祉協議会、市消防防災センター、消防署、警察などの関係機関・団体の協力、避難を支援してくれる方へ提供し、災害時の避難支援に役立てていただくこととなります。

＜地域の役割＞
避難行動要支援者の避難を支援する方を地域を単位とする必要があり、地域の役割が果たした場合は、ご協力のほどお願いいたします。

※自主防災組織、自治会、町内会の単位におかれましては、要支援者への情報伝達や避難誘導、安否確認等、地域の防災体制の強化、日ごろからの要支援者の見守り体制の構築にご協力をお願いいたします。



●いきいきサロン支援事業（自主財源事業）

支え合い、助け合いなどの地域福祉活動を推進するいきいきサロン団体に対し助成した。今年度は、サロン登録数や開催数、参加人数が増加している。

種 別	登録数(単位:団体)			開催数(単位:回)			延人数(単位:人)		
	7年度	6年度	比較	7年度	6年度	比較	7年度	6年度	比較
高齢者サロン	84	77	7	654	561	93	9,328	7,449	1,879
障がい者サロン	3	3	0	23	21	2	537	296	241
子育てサロン	6	8	▲ 2	17	20	▲ 3	602	797	▲ 195
その他	11	7	4	49	13	36	1,347	552	795
合 計	104	95	9	743	615	128	11,814	9,094	2,720

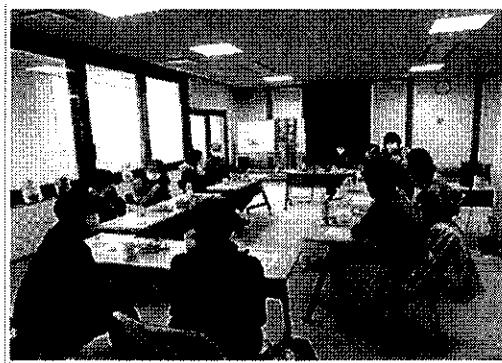
■いきいきサロン研修会

日 時	令和7年12月2日(火)午後1時30分
場 所	能代山本広域交流センター
参 加 者	登録団体等 計39名
内 容	サロン活動紹介・情報交換等 「ニュースポーツ『スカットボール』体験」 講師：秋田県レクリエーション協会 菊地 義寿 氏

<事業概要>

公民館や集会所等を拠点に、地域で孤立することなく安心して暮らせることを目的に活動している団体に運営費を助成します。

- 【助成額】 ・参加者1人につき100円を助成（上限：3,000円）
 ・会場借り上げ料を助成（上限：1,000円）
 ※自宅会場の場合は会場料として1,000円を助成
- 【助成回数】 ・毎月1回まで（年3回以上活動している団体であること）



●車両・物品貸出事業（自主財源事業）

地域で支え合い活動を行う団体を支援するために、車両・物品の貸出を行った。

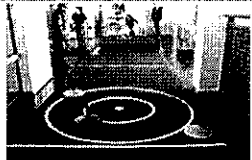
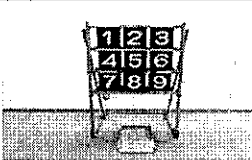
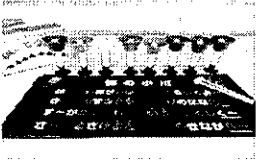
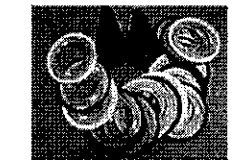
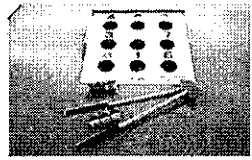
(単位:件)

種 別	項 目	レクリエーショ ン用品	疑似体 験セット	車イス	視聴覚 機器	軽 トラック	福祉 車両	除雪機	計
小中学校		0	0	1	0	0	0	0	1
施設・団体等		67	1	2	15	3	0	6	94
個 人		0	0	47	0	3	26	0	76
合 計		67	1	50	15	6	26	6	171

<事業概要>

生活・介護支援などの地域の支え合い活動を行う地域住民、団体等に車両や物品を貸出します。

貸出機材一覧

福祉車両	軽トラックダンプ	小型除雪機	車イス
			
カラオケDVDセット	ボウリングゲーム	ユニカール	ストライクボード
			
ハンドベル	ポッチャ	スカイクロス	ボールボードゲーム
			

写真の他に下記の物品も貸出しています。

プロジェクター・スクリーン・DVDデッキ・疑似体験セット・輪投げセット
スマイル射的・グラウンドゴルフセット等・回転ダーツ・プッシュリング

●雪対策支援事業（市補助事業）

自力で除雪を行うことが困難な高齢者世帯等の除雪支援を行う個人や団体に、除雪機等を貸出したほか、燃料費等を助成した。

■除雪ボランティア登録状況

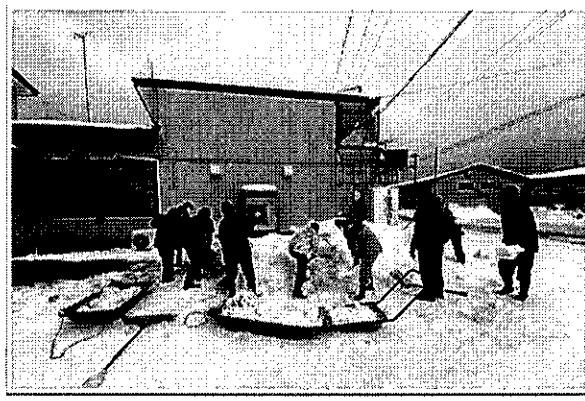
種 別	令和7年度		令和6年度		比 較	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体
能 代 地 区	5人	7団体	1人	6団体	4人	1団体
二ツ井地区	2人	4団体	2人	3団体	0人	1団体

■除雪ボランティア活動状況

	活動日数	活動人数	支援世帯
令和7年度	50日	384人	555世帯
令和6年度	51日	202人	411世帯
比 較	▲ 1日	182人	144世帯

除雪機等貸出及び助成

種 別	貸出機材		燃料費助成			
	除雪機	軽トラック	個人ボランティア		団体ボランティア	
令和7年度	6件	22件	3人	30,000円	4件	80,000円
令和6年度	6件	9件	3人	30,000円	3件	60,000円
比 較	0件	13件	0人	0円	1件	20,000円

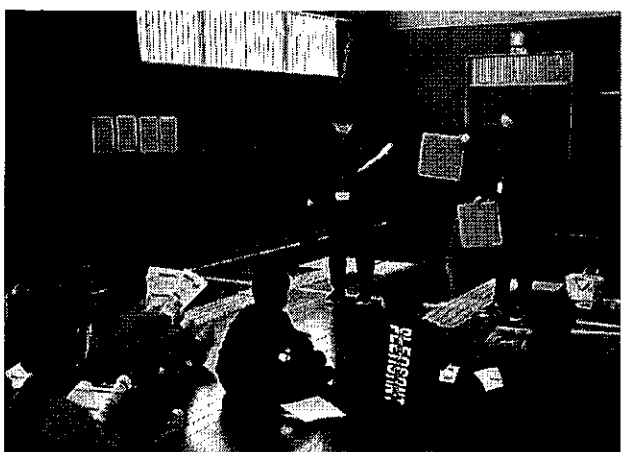
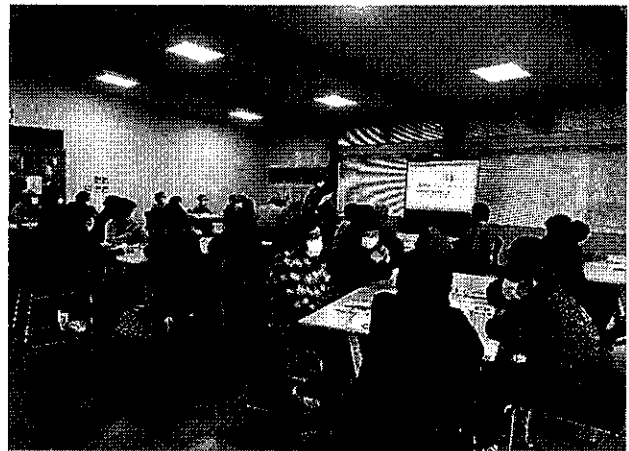


● 出前講座事業（自主財源事業）

地域福祉を推進するため、自治会・町内会、ボランティア団体、事業所等に職員が出向き、社会福祉の啓発等に努めた。

回	開催日	団体名等	内 容
1	令和7年 4月 9日	オレンジカフェ“遊”	地域を活性化するボランティア・ネットワークのすすめ
2	令和7年 4月 21日	ときわ会	社会福祉協議会とは レクリエーション体験
3	令和7年 4月 30日	家族介護者の集い (北地域包括支援センター)	事例から見えてくる孤立しないさせない地域づくり
4	令和7年 5月 28日	秋田建築労働組合能代支部女性部	高齢者・障がいについて理解しよう
5	令和7年 5月 29日	ゆずり葉	権利擁護センター事業について
6	令和7年 6月 4日 12日 26日	湊城南小学校(福祉教育)	ふくしとは？ 福祉体験学習 ユニバーサルデザインについて
7	令和7年 6月 11日	オレンジカフェ“遊”	知って安心！生活のサポート～日常生活自立支援事業と成年後見制度
8	令和7年 6月 11日	家族介護教室	知って安心！生活のサポート～日常生活自立支援事業と成年後見制度
9	令和7年 7月 13日	若返老会(わかがえろうかい)	社会福祉協議会とは
10	令和7年 7月 14日	出戸沼第2カフェゆうゆう	脳トレ、軽運動・スポーツでリフレッシュ
11	令和7年 7月 18日	おしゃべりサロン	知って安心！生活のサポート～日常生活自立支援事業と成年後見制度
12	令和7年 8月 8日	家族介護者の集い・ドリームの会	介護や福祉サービスの相談について
13	令和7年 8月 18日	向能代まるっとステーション	知って安心！生活のサポート～日常生活自立支援事業と成年後見制度
14	令和7年 8月 20日	第二さわやかサロン	社会福祉協議会とは
15	令和7年 9月 4日	岳ちゃんサロン	知って安心！生活のサポート～日常生活自立支援事業と成年後見制度
16	令和7年 9月 16日	一般社団法人 実践倫理宏正会	社会福祉協議会とは
17	令和7年 10月 3日	秋田しらかみ看護学院	ボランティアセンターの役割や活動について
18	令和7年 10月 8日	能代南中学校(福祉教育)	福祉体験学習
19	令和7年 10月 8日	南地区民生委員児童委員協議会	知って安心！生活のサポート～日常生活自立支援事業と成年後見制度
20	令和7年 10月 10日	秋田しらかみ看護学院	災害時にも活かそうボランティア活動
21	令和7年 10月 17日	とどろきサロン	社会福祉協議会とは レクリエーション体験
22	令和7年 11月 6日	能代市赤十字奉仕団	災害について フレイル予防について
23	令和7年 11月 12日	オレンジカフェ“遊”	社会福祉協議会とは レクリエーション体験
24	令和7年 12月 15日	ときわ会	権利擁護センター事業について レクリエーション体験
25	令和7年 12月 15日	第四小学校(福祉教育)	福祉体験学習

26	令和7年 12月 16日	能代支援学校	ふくしとは？ 福祉体験学習
27	令和8年 1月 19日	能代はまなす女性の会	知って安心！生活のサポート～日常生活自立支援事業と成年後見制度
28	令和8年 2月 3日 6日	湊城西小学校(福祉教育)	ふくしとは？ 福祉体験学習
29	令和8年 2月 14日	竹生自治会	いきいきサロンをつくろう
30	令和8年 2月 20日	傾聴ボランティア ゴッコの会	知って安心！生活のサポート～日常生活自立支援事業と成年後見制度
31	令和8年 3月 5日	権利擁護カフェ	知って安心！生活のサポート～日常生活自立支援事業と成年後見制度
32	令和8年 3月 5日	能代市赤十字奉仕団	災害時対策について フレイル予防について
33	令和8年 3月 10日	母体健康教室	社会福祉協議会とは レクリエーション体験
34	令和8年 3月 16日	出戸沼第2カフェゆうゆう	脳トレ、軽運動・スポーツでリフレッシュ



●ふれあい安心電話事業（市受託事業）

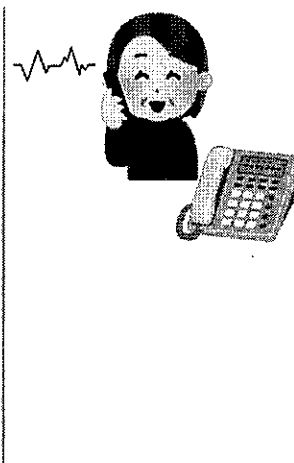
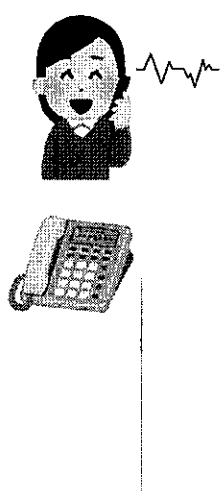
一人暮らし高齢者や高齢者世帯に対し安否確認を行い、併せて困りごと相談等を実施した。

項 目 地 区	対象世帯(単位:世帯)			通話件数(単位:件)			通報件数(単位:件)		
	7年度	6年度	比較	7年度	6年度	比較	7年度	6年度	比較
能 代 地 区	173	195	▲ 22	6,950	6,395	555	305	631	▲ 326
二ツ井地区	11	13	▲ 2	723	1,094	▲ 371	-	-	-

<事業概要>

一人暮らし高齢者や高齢者世帯等に、週1回安否確認を兼ねて電話によりふれあいを図ります。

個々の相談に応じ、急病や災害などの緊急時にも対応できる地域支援システムを確立することによって、孤独感や不安解消など、福祉の増進に資することを目的とします。



●二ツ井総合福祉センター事業（自主財源事業）

■生きがいスクール

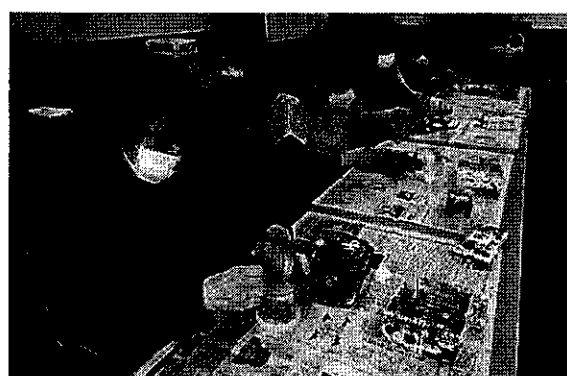
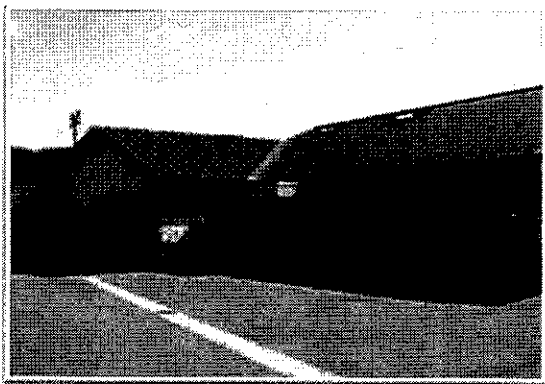
二ツ井地域の高齢福祉、地域福祉の拠点としての機能を生かし、幅広い年齢層を対象とした各種講座、イベントなどの啓発事業に取り組んだ。

内 容 年 度	講 座	回 数	延利用者数
令和7年度	7講座	12回	121人
令和6年度	7講座	12回	126人
比 較	0講座	0回	▲ 5人

<事業概要>

○生きがいスクール

高齢者等が、心身を活性化させ、引きこもり状態にならないよう各種講座を開催し、仲間づくり・生きがいづくりにつなげます。



●外出支援サービス事業（市受託事業）

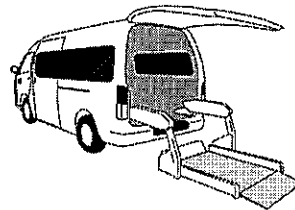
公共の交通機関を利用することが、困難な在宅の寝たきり高齢者や、肢体の不自由な方の医療機関等への送迎を実施した。

（単位：人）

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	36	52	49	53	53	59	67	62	42	41	36	49	599
令和6年度	26	27	26	35	29	43	53	52	52	48	48	46	485
比 較	10	25	23	18	24	16	14	10	▲ 10	▲ 7	▲ 12	3	114

<事業概要>

公共の交通機関を利用することが困難な在宅の寝たきり高齢者や肢体の不自由な方をリフト付き車いす装着ワゴン（移送車）により、医療機関などへ送迎します。



●生活支援ハウス運営事業（市受託事業）

入居者定員：10名

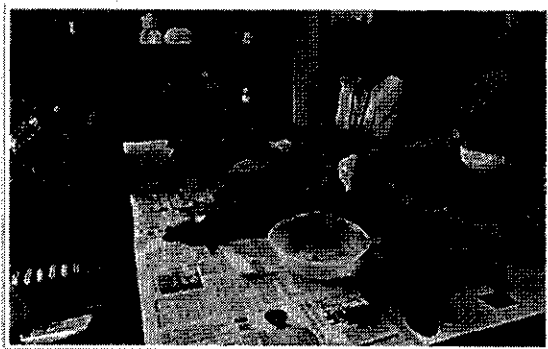
高齢のために在宅で生活する事に不安がある方へ、住まいを提供し安心して明るい生活を送れるよう支援した。

（単位：人）

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	2	2	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	11
令和6年度	4	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	2	37
比 較	▲ 2	▲ 1	▲ 1	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 4	▲ 3	▲ 3	▲ 2	▲ 26

<事業概要>

概ね65歳以上の一人暮らし及び夫婦のみの世帯で、高齢のために在宅で生活することに不安がある方へ住まいを提供し、安心して健康で明るい生活を送ることができるよう支援します。
※令和8年3月末で事業廃止となりました。



●社会福祉大会（自主財源事業）

令和7年度能代市社会福祉大会を令和7年11月14日に能代市文化会館大ホールで開催した。

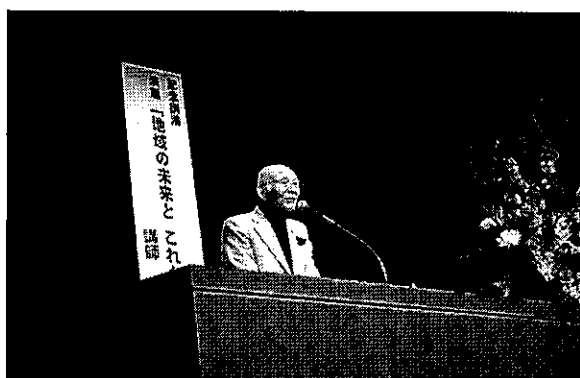
式典では、多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった26個人と2団体の方々を表彰し、式典終了後には、合併20周年記念講演として、読売新聞特別編集委員・ジャーナリストの橋本五郎氏より、「地域の未来とこれからの地域づくり」をテーマにご講演いただき福祉関係者ら約500名が参集した。

会場前のロビーではねむの木苑の皆様にコーヒーサロン「ねむカフェ」を開催していただいた。

日 時	令和7年11月14日(金)午後1時30分
場 所	能代市文化会館大ホール
表 彰 者	個人26名、2団体

■合併20周年記念講演

内 容	テーマ:「地域の未来とこれからの地域づくり」 講 師:読売新聞特別編集委員・ジャーナリスト 橋本 五郎 氏
-----	--



●まるごと福祉まつり（20周年記念事業）

20周年記念事業として、「みんなでつなごう笑顔と絆」をテーマに、ボランティア関係者や一般の方が集い、地域を支える様々な福祉に触れながら、交流の輪を広げた。地域福祉やボランティア、福祉団体の活動を市民に知ってもらい、福祉への興味や関心、理解を広げ、助け合いや支えあいの推進を図った。

日	時	令和7年10月26日(日)午前10時～午後3時
場	所	能代山本広域交流センター
参 加 者		約700名
内 容		・ふれあいステージコーナー 市内幼稚園児によるステージ、ボランティア団体による演奏や踊り等 ・体験コーナー eスポーツコーナーやパン焼き体験等 ・展示紹介コーナー 社協の活動や赤い羽根共同募金の紹介、福祉用具のサンプル展示 ・飲食コーナー 赤十字奉仕団による炊き出し等



● 社会福祉法人連絡会（自主財源事業）

市内の社会福祉法人が、相互に情報交換を行い、地域のニーズや生活課題を受け止め連携・協働による公益的活動のより一層の充実を図るため、情報交換や研修事業等を実施した。

■ 総会の開催

開催日及び開催場所	内 容
令和7年7月11日 (地域密着型介護老人福祉施設「あおば」)	令和6年度能代市社会福祉法人連絡会事業報告・収支決算について 令和7年度能代市社会福祉法人連絡会事業計画・収支予算について

■ 幹事会の実施

年月日	内 容	出席人数
令和7年4月23日 (社協会議室)	・総会提出案件について ・情報交換及び情報共有について ・まるっとふれあい鉄道について	8名
令和7年9月11日 (社協会議室)	・福祉人材の確保、育成について ・研修会について ・情報交換及び情報共有について ・まるごと福祉まつりについて	9名
令和7年12月4日 (社協会議室)	・研修会について ・情報交換及び情報提供について	8名
令和8年2月26日 (社協会議室)	・研修会について ・情報交換及び情報共有について	8名

■ 監事会の実施

年月日	内 容	出席人数
令和7年4月22日 (ねむの木苑会議室)	・令和6年度社会福祉法人連絡会決算書類について	監事1名 事務局2名

■ 会員法人のネットワークづくりと情報交換及び情報共有

(1) 災害協定による法人との連携

・災害時に備えた研修会の実施

日 時	令和8年3月25日(水)午後1時30分～午後3時
場 所	能代市社会福祉協議会 会議室
参 加 者	連絡会幹事及び職員20名
内 容	テーマ：「大規模災害時の各施設の対応等について」 講 師：秋田県社会福祉協議会 災害福祉支援担当 佐藤 徹 氏

(2) 定期的な情報交換の実施、職員同士のネットワークづくり

・熊対策、コロナ感染による取り扱い(労災)について 等

(3) 各法人の共通課題である福祉人材の確保、育成

・令和8年1月15日(木)

「高校生対象企業説明会」 会場:能代山本スポーツリゾートセンター「アリナス」

(4) 国や県の福祉関連制度の改正等に関する情報共有

・処遇改善加算、あきた賃上げ緊急支援について 等

■地域公益活動の推進

(1) 「暮らしのなんでも相談室」事業の実施

①相談実績等:地域住民について ・障がい年金の申請について 等

②出前講座:家族介護者の集い「ドリームの会」、にこにこサロン

③備品貸出実績:車イス 施設貸出実績:社協会議室・特養しののめ、特養あおば

④連絡会協力事業

・まるっとステーションまちなか2周年記念イベントにて、ドリームホープなかよしや能代ふくし会によるパン・惣菜・味噌の販売、コーヒーサロンの開催

・まるっとふれあい鉄道にて、能代ふくし会による「わっこちゃん食堂」の開催

・まるごと福祉まつりでの、能代感恩講・轟婦人福祉会園児によるぬり絵の展示

・施設ボランティア養成講座の講師を能代ふくし会へ依頼



●重層的支援体制整備事業（市受託事業）【重点事業】

・多機関協働事業

複合化・複雑化した支援ニーズがある事例の調整役を担い、支援関係機関の役割分担や支援の方向性を定め、支援プランの作成を行い、包括的な支援体制を構築に努めた。

■受付件数

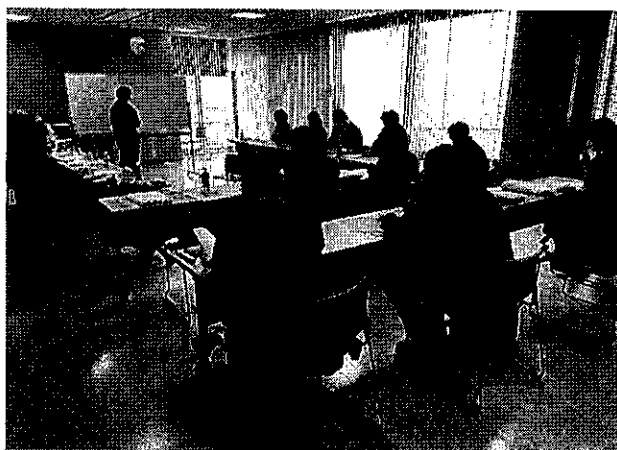
(単位:件)

区 分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談受付件数	4	2	4	3	2	2	1	1	2	10	5	2	38
プラン作成件数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3

■重層的支援会議

(単位:人)

回	開催日	内 容	出席人数
1	令和7年 5月 16日	プラン終結について	12
2	令和7年 7月 10日	新規プランについて	15
3	令和7年 10月 10日	経過支援について	14
4	令和8年 2月 12日	経過支援について 新規プランについて	14
5	令和8年 3月 24日	新規プランについて	16

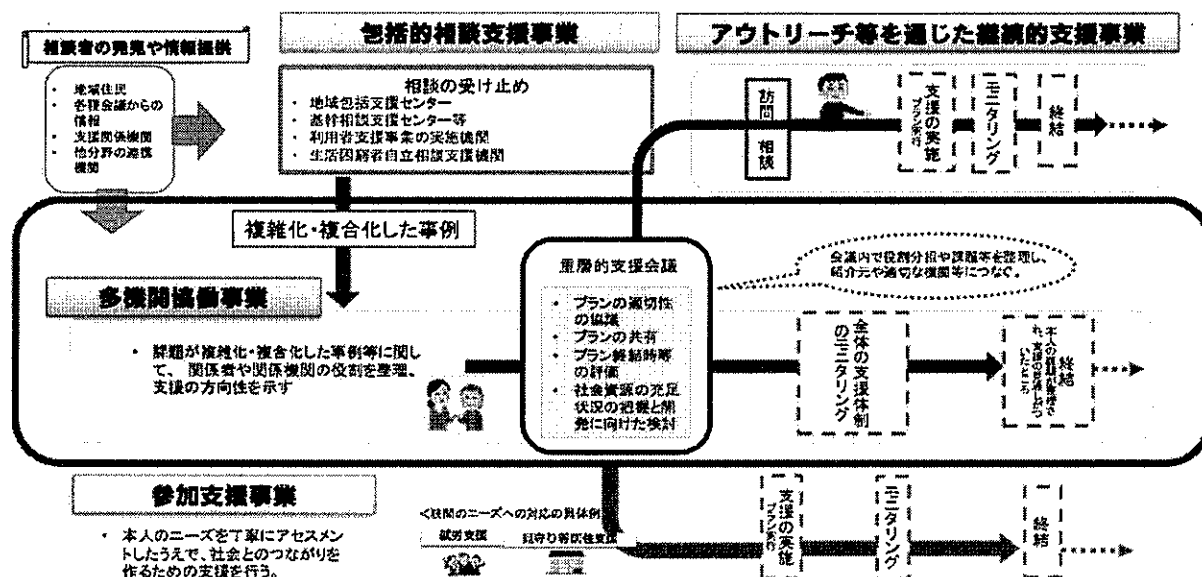


＜事業概要＞

単独の支援関係機関では対応が難しい複合化・複雑化した支援ニーズがある事例の調整役を行い、支援関係機関の役割分担や支援の方向性を定め、支援プランの策定を行う等の取組を通じて支援関係者の円滑化を進めるとともに、包括的な支援体制を構築します。

重層的支援体制整備事業の支援フロー(イメージ)

- 相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、包括的相談支援事業において包括的に相談を受け止める。
- 包括的相談支援事業が受け止めた相談のうち、単独の支援関係機関では対応が難しい複雑化・複合化した事例は多機関協議事業につなぐ。
- 多機関協議事業は、各支援関係機関の役割分担や支援の方向性を定めたプランを作成し重層的支援会議に諮る。
- 重層的支援会議を通じて、関係機関間で支援の方向性にかかる合意形成を図りながら、支援に向けた円滑なネットワークをつくることを目指す。
- また、必要に応じてアウトリーチ等を通じた継続的支援事業や参加支援事業につないでいく。



※ 重層的支援会議で検討した結果、包括的相談支援事業が引き続き主担当として支援すべき案件であるとなった場合には、包括的相談支援事業に戻すこともある。
 ※ アウトリーチ等事業は支援の性質上、多機関協議事業が関わる前から支援を開始することもある。

・参加支援事業

既存制度では対応できない狭間のニーズに対応するため、本人のニーズと地域の資源との間を取り持ち、本人・世帯の状態に寄り添って、ぐるっぺやボランティアセンターの各種講座等へ参加を促し、社会とのつながりを回復できるよう支援した。

■受付件数

(単位:件)

月 区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談受付件数	2	1	2	1	0	1	0	0	3	1	1	0	12
プラン作成件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

<事業概要>

既存制度では対応できない狭間のニーズに対応するため、本人のニーズと地域の資源との間を取り持つことで多様な資源の開拓を行い、本人・世帯の状態に寄り添い、社会とのつながりを回復できるよう支援します。

また、既存の社会資源に働きかけ、拡充を図り、本人やその世帯の状態に沿った支援が実施できているかフォローアップ等を行い、本人やその世帯と社会とのつながりづくりに向けた支援を行います。



・地域づくり事業

誰もが安心して生活を維持できるよう、地域住民相互の支え合いにより共助の取組の活性化を図り、支援が必要な人と地域とのつながりを確保し、地域全体で支える基盤づくりの構築に務めた。アウトリーチ活動を行うとともに、「みんなの相談窓口まるっとステーション」、「まるっとステーションまちなか」、「出張まるっとステーション」、「まるごと相談所」を開設し、地域住民の集いの場の提供や地域のニーズの掘り起こしに努め、継続的な支援を行った。

■地域の福祉ニーズ調査等実施件数

(単位:件)

内 容 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問・来所	40	24	30	20	27	54	27	35	45	41	24	28	395
電 話	8	16	13	10	10	12	15	20	25	28	17	10	184
そ の 他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合 計	48	40	43	30	37	66	43	55	70	69	41	38	580

■「まるっとステーション」・「まるごと相談所」等の実施回数

(単位:回)

内 容 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
まるっとステーション	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
出張まるっと	0	0	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	5
まちなか	20	20	20	23	20	20	22	18	14	5	15	17	214
まるごと相談所	0	3	3	1	0	3	1	4	5	5	2	4	31
合 計	38	41	42	43	38	41	44	40	37	28	35	39	466

■「まるっとステーション」・「まるごと相談所」等による利用延人数

(単位:人)

内 容 \ 月	来 所	訪 問	電 話	マッチング・開発	合 計
鶴 形 地 域	323	0	0	0	323
扇 淵 地 域	229	0	3	0	232
向 能 代 地 域	442	3	0	3	448
南 地 域	34	51	4	2	91
檜 山 地 域	118	13	7	1	139
常 盤 地 域	91	26	0	3	120
ま ち な か	976	50	0	22	1,048
二 ツ 井 地 域	0	0	0	0	0
まるごと相談所	44	0	0	0	44
合 計	2,257	143	14	31	2,445

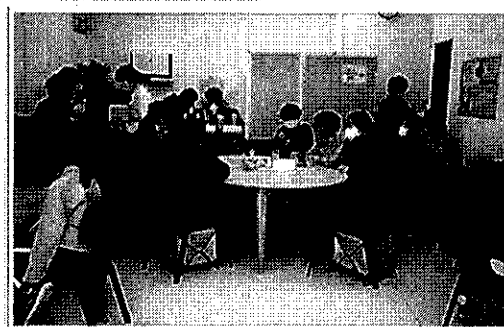
■まるっとステーションまちなか

2周年記念イベント 開催日 令和7年5月15日(木)

＜事業概要＞

誰もが安心して生活できるよう、地域住民相互の支え合いにより共助の取組の活性化を図り、生活困窮者をはじめ、支援が必要な人と地域との繋がりを適切に確保し、地域全体で支える基盤づくりをします。

ボランティア、福祉関係者等の協力を得ながら地域の中に誰もが安心して過ごせる場、また人と人、人と地域がつながる場として、「まるっとステーション」や「まるっとステーション まちなか」、自治会館や集会所を活用する「出張まるっとステーション」、「まるごと相談所」を設置し、地域住民の相談窓口・交流の場としての機能拡大に取り組みます。



●アウトリーチ等支援事業（重層的支援体制整備事業）【重点事業】

アウトリーチにより、地域の相談窓口として、制度の狭間の課題や様々な困りごとを地域、関係機関で支えるネットワークづくり・仕組みづくりに取り組んだ。

■相談者数

(単位:人)

内 容 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	9	26	13	25	9	19	25	18	20	49	10	22	245
経過記録	21	12	23	22	19	8	14	20	19	18	18	33	227
合 計	30	38	36	47	28	27	39	38	39	67	28	55	472

■相談方法

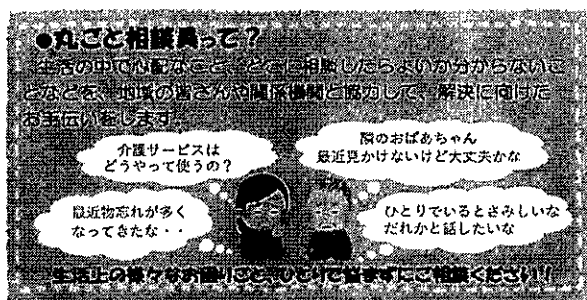
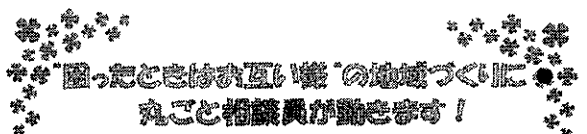
(単位:人)

内 容 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問相談	9	26	18	17	6	14	28	18	16	36	6	18	212
来所相談	12	10	13	12	8	6	4	7	8	9	7	20	116
電話等相談	8	2	5	16	11	5	7	10	15	21	15	15	130
そ の 他	1	0	0	2	3	2	0	3	0	1	0	2	14
合 計	30	38	36	47	28	27	39	38	39	67	28	55	472

<事業概要>

アウトリーチにより、地域の相談窓口として、制度の狭間の課題も含め様々な困りごとを捉え、支援するとともにその困りごとを地域・関係機関等で支えるネットワークづくり・仕組みづくりに取り組みます。

能代市を8つの地域に分け、各地域に「丸ごと相談員」を配置することで、地域住民に寄り添った相談支援を行います。



●お問い合わせ先●

☎ 0185-89-6000 FAX 0185-89-6800

社会福祉法人 能代市社会福祉協議会
〒016-0817 能代市上町12番32号 能代ふれあいプラザ 2F

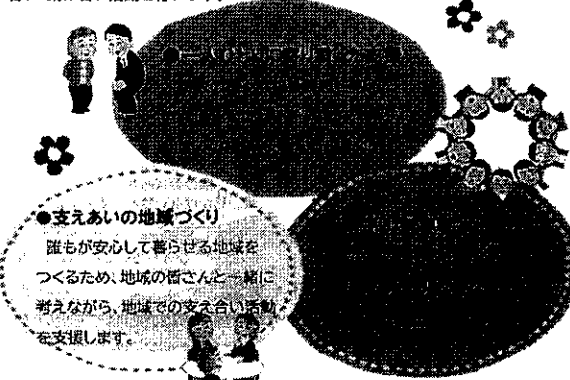
☎ 0185-73-3801 FAX 0185-73-5648

ニツ井総合福祉センター
〒018-3151 能代市ニツ井町字三千町 44 番地 34



～丸ごと相談員の取り組みとは?～

地域住民が主体となった地域福祉活動を推進するとともに、一緒になって支え合い・助け合い活動を行います。



主にどんなことをするの?



●生活支援体制整備事業（市受託事業）【重点事業】

高齢者支援のニーズと社会資源の状況について把握し、地域における取組を総合的に支援・推進するため、地域の課題やニーズ等の調査を行い、第2層協議体の設置に向けた取組を進めたほか、関係機関、団体等に対する事業内容の周知等に努めた。

■調査等実施件数

(単位:件)

月 内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪 問 調 査	57	38	40	47	41	86	52	48	49	88	51	43	640
電 話 調 査	9	14	14	11	17	21	18	21	22	63	32	18	260
マッチング・開発	1	0	0	1	0	1	1	1	4	40	11	1	61
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	67	52	54	59	58	108	71	70	75	191	94	62	961

■状況調査件数

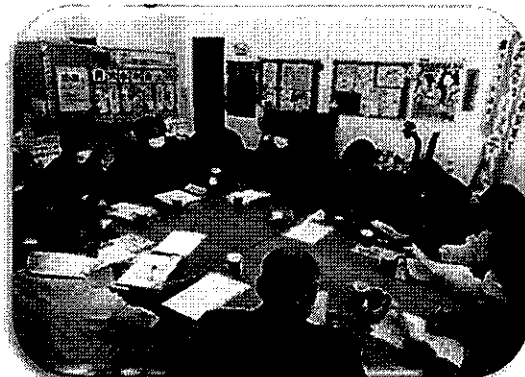
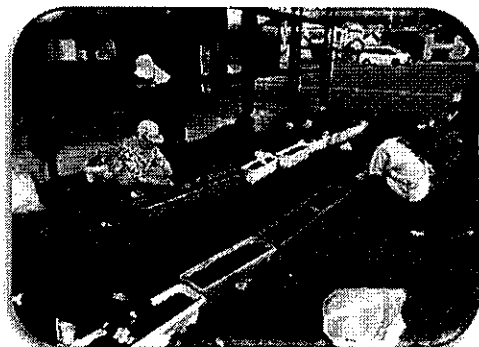
(単位:件)

地 域 内 容	本庁地域	北地域	南地域	二ツ井地域	合計
住民主体の通いの場	14	9	13	10	46
サービス及び担い手	9	9	10	20	48

■第2層協議体 会議開催日:令和7年12月18日(木)(本庁地区)

<事業概要>

高齢者支援のニーズや地域の課題と社会資源の状況等について把握し、地域住民や団体等と情報共有を図りながら連携し、困りごとや課題に対応できる地域づくりに取り組みます。



3.自立支援の推進

権利擁護センター

●成年後見制度利用支援事業（拡充事業）

成年後見制度の利用を促進するため、パンフレットやリーフレット等の作成・配布、社協広報紙、ホームページ等を活用したほか、出前講座、研修会等で啓発活動を行った。運営委員会にて、意見交換からの共通課題を認識し、今後の協力・連携体制の構築に努めた。

■相談実人数

(単位:人)

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	24	25	26	21	19	26	36	24	26	19	21	24	291

■相談延人数

(単位:人)

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	38	31	29	34	29	33	47	39	36	32	29	37	414

■相談者別内訳

(単位:人)

内 容 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	17	4	7	16	4	7	6	3	4	3	3	11	85
親族	7	8	4	6	4	9	7	2	7	11	7	8	80
行政	0	1	3	2	5	2	3	0	4	1	0	3	24
包括支援センター	1	2	0	2	1	2	10	11	3	3	6	1	42
介護福祉事業所	6	3	2	1	5	8	6	7	8	6	1	0	53
ケアマネジャー	5	5	3	2	1	2	6	6	6	3	7	9	55
その他	2	8	10	5	9	3	9	10	4	5	5	5	75
合 計	38	31	29	34	29	33	47	39	36	32	29	37	414

■制度啓発のための出前講座等

(単位:人)

回	開催日	団体名	参加人数
1	令和7年 5月 29日	ゆずり葉	13
2	令和7年 6月 11日	オレンジカフェ“遊”	5
3	令和7年 6月 11日	家族介護教室	2
4	令和7年 7月 18日	おしゃべりサロン	9
5	令和7年 8月 18日	向能代まるっとステーション	11
6	令和7年 9月 4日	岳ちゃんサロン	6
7	令和7年 10月 8日	南地区民生委員児童委員協議会	21
8	令和7年 12月 15日	ときわ会	28
9	令和8年 1月 19日	能代はまなす女性の会	61
10	令和8年 2月 20日	傾聴ボランティア ゴッホの会	20
11	令和8年 3月 5日	権利擁護カフェ	6

■運営委員会

回	開催日	内 容	出席人数
1	令和7年 7月 3日	令和6年度相談実績について	14
		令和6年度事業計画評価表について	
2	令和7年 11月 10日	令和7年度上半期相談件数について	13
		令和7年度上半期事業計画評価表について	
3	令和8年 3月 25日	令和7年度下半期相談件数について	11
		令和7年度下半期事業計画評価表について	

<事業概要>

誰もが住み慣れた地域で安心して生活ができる地域共生社会の実現に向けて、成年後見制度の利用が必要な人を発見し、適切に必要な支援につなげる地域連携体制を構築し、制度の利用促進を図ります。

○成年後見制度とは

認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が不十分な人が、財産管理や契約で不利益をこうむったり、人間としての尊厳がそこなわれたりすることのないように、主に法律面で支援する制度です。

成年後見制度には、すでに判断能力に衰えのある人が、財産管理や療養看護についての契約などを行うことをサポートしてもらう「法定後見制度」と、現在は問題はないが、将来的な認知症などの不安に備えて、あらかじめサポートしてもらう代理人（任意後見人）と、サポートしてもらう内容を決めておく「任意後見制度」の2種類があります。



●法人後見事業（拡充事業）

判断能力が不十分な方の財産管理や契約等の法律行為を成年後見制度に基づく法人後見事業により支援したほか、運営委員会を開催し事例検討等の指導、助言を受けた。また、制度に関する相談等を行った。

■受任件数

(単位:件)

種別等		令和7年度	令和6年度	比 較
受 任 件 数		10	10	0
新規受任件数		1	3	▲ 2
類 型	後 見	10	10	0
	保 佐	0	0	0
	補 助	0	0	0
終 了 件 数		0	1	▲ 1

■受任内訳

(単位:件)

種別等		令和7年度	令和6年度	比 較
区 分	認 知	7	8	▲ 1
	知 的	2	1	1
	精 神	1	1	0
所 在	在 宅	1	3	▲ 2
	施 設	6	5	1
	病 院	3	2	1
申立人	本 人	1	1	0
	親 族	6	5	1
	市 長	3	4	▲ 1

■運営委員会

回	開催日	内 容
1	令和7年 11月 26日	受任検討案件について

<事業概要>

判断能力が不十分な人の財産管理や契約等の法律行為を行い、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう成年後見制度に基づく法人後見事業により支援します。

○法人後見とは

社会福祉法人や社団法人、NPOなどの法人が成年後見人、保佐人もしくは補助人（以下、「成年後見人等」といいます。）になり、ご親族等が個人で成年後見人等に就任した場合と同様に、判断能力が不十分な人の保護・支援を行うことをいいます。

一般的に、法人後見では、法人の職員が法人を代理して成年後見制度に基づく後見事務を行うため、担当している職員が何らかの理由でその事務を行えなくなっても、担当者を変更することにより、後見事務を継続して行うことができるという利点があります。

●生活困窮者就労準備支援事業（市受託事業）

一般就労が困難な方に、就労の前段階として必要な社会的能力の習得及び就労体験を実施し、困窮状態から脱却を図れるよう支援した。引きこもりや孤立を防ぎ社会参加の意欲を高めるため、「ぐるっぺ」を週2回開催したほか、「ぐるっぺ陽だまり」を開設し、外出のきっかけづくりに取り組んだ。

■相談実人数

(単位:人)

月 年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	27

■相談支援方法

(単位:人)

月 内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来 所 面 談	2	1	1	5	0	1	0	0	1	0	2	8	21
電話・メール等	4	11	10	5	6	7	14	8	10	9	6	2	92
自 宅 訪 問	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
他機関同行等	0	0	1	1	0	0	1	0	2	2	0	2	9
そ の 他	4	4	3	3	3	2	3	3	5	4	3	2	39

■「ぐるっぺ」開催実績

(単位:人)

月 内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開 催 回 数	5	4	5	6	5	5	5	5	5	7	8	8	68
延参加人数	20	19	20	34	17	6	9	6	2	4	11	17	165

<事業概要>

就労に必要な実践的な知識、技能等が欠けているだけでなく、複合的な問題があり、生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下しているなどの理由で就労に向けた準備が整っていない方に、就労に向けた準備として基礎能力の形成からの支援を計画的かつ一貫して実施します。

就労準備支援とは？

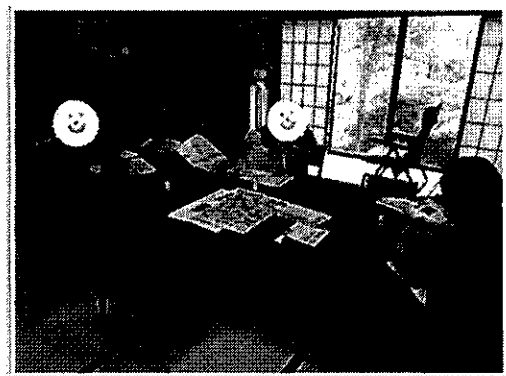


- ・社会との関りが少ない
- ・働きたいけど体調に不安がある
- ・コミュニケーションに自信がない
- ・今まで働いたことがない
- ・生活のリズムを整えたい
- ・就職活動前の準備を一緒にしたい

1. まずはご相談ください。ご本人と支援員が面談をします。就労に向けての意思を確認し、目標を一緒に考え、支援プログラムを作成します。
2. 作成したプログラムをご本人と確認し、支援を開始します。
3. 就労にあたっての不安や悩みを共有しながら、支援を進めていきます。随時、ご本人の状況に応じて、プログラムの見直しを行います。

相談無料

ひとりで悩まずに、
まずはお気軽にご相談ください



●生活困窮者家計改善支援事業（市受託事業）

家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者と一緒になって家計の状況を明らかにして生活の再生に向けた意欲を引き出した上で、助言・指導等を行い、早期に生活が再生されるよう支援した。

■相談実人数

（単位：人）

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	1	2	2	3	3	3	3	3	3	3	2	2	30

■相談支援方法

（単位：人）

内 容 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来 所 面 談	0	0	1	1	1	0	0	1	4	0	0	1	9
電話・メール等	9	6	9	22	10	10	11	16	17	21	16	16	163
自 宅 訪 問	2	0	0	1	1	2	3	5	3	6	3	3	29
他機関同行等	1	1	0	2	1	0	2	2	1	2	2	1	15
そ の 他	1	3	2	3	3	3	3	3	3	3	2	2	31

<事業概要>

家計収支の均衡がとれていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を明らかにして、生活の再生に向けた意欲を引き出したうえで、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言・指導等を行うことにより、相談者自身の家計を管理する能力を高め、早期に生活が再生されるよう支援する取組を行います。



家計改善支援とは？

相談者が自らの家計の状況に気づき、理解したうえで、「家計の見える化」をはかる支援です。生活を見直すことで、家計改善の目標をご本人が見出すことができます。

ご本人が将来に向けて家計管理できるよう、一緒に取り組み、お手伝いをし

お金が貯まらない

家賃や税金が支払えない

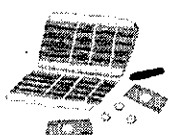
借金の返済ができない

なぜお金が不足してしまうか分からない



相談無料

このようなことで困っていませんか？
ひとりで悩まず、まずはご相談ください！



●たすけあい資金貸付事業（自主財源事業）

失業や疾病等による一時的な収入減等により、生活維持が困難になった世帯に対し、一時資金として無利子で貸し付けを行った。

内 容 \ 年 度	令和7年度	令和6年度	比 較
貸 付 件 数	22件	18件	4件
貸 付 金 額	1,390,000円	1,170,000円	220,000円
償 還 件 数	201件	207件	▲ 6件
償 還 金 額	1,377,500円	1,409,253円	▲ 31,753円

<事業概要>

低所得者世帯に対して生活費等のつなぎ資金を融資し、その自立を支援します。

【貸付対象】 低所得者等（能代市在住）

【貸付限度額】 7万円

【返済期間】 10ヶ月以内

【貸付利子】 無利子 ※連帯保証人必要

●生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

低所得者、高齢者、障がい者、失業者等の世帯に対し、資金の貸し付けと必要な相談支援を行い、安定した生活を送ることを目的に、自立に向けた支援を行った。

種 類 \ 年 度	令和7年度		令和6年度		比 較	
総 合 支 援 資 金	0件	0円	1件	315,000円	▲ 1件	▲ 315,000円
福 祉 資 金	5件	553,000円	2件	499,000円	3件	54,000円
教 育 支 援 資 金	2件	4,942,000円	2件	2,660,000円	0件	2,282,000円
合 計	7件	5,495,000円	5件	3,474,000円	2件	2,021,000円

<事業概要>

低所得・障がい者または高齢者世帯から相談を受け、資金の貸付けを行い、生活が安定し自立できるよう支援します。

○生活福祉資金の種類

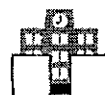
<総合支援資金>

- ・生活支援費：生活再建までの間に必要な生活費
- ・住宅入居費：敷金、礼金等住宅の賃貸契約を結ぶために必要な費用
- ・一時生活再建費：生活を再建するために一時的に必要な費用



<教育支援資金>

- ・教育支援費：高校、大学、短大、専門学校、高等専門学校の就学に必要な経費
- ・就学支度金：高校、大学、短大、専門学校、高等専門学校の入学に際し必要な経費



<不動産担保型生活資金>

- ・不動産担保型生活資金：高齢者が所有する居住用不動産を担保する生活費の貸付
- ・要保護世帯向け不動産担保型生活資金：要保護の高齢者世帯が所有する居住用不動産を担保とする生活費の貸付

<福祉資金>

- ・冠婚葬祭費、小規模住宅改修費、転居費、福祉用具等購入費、障がい者用自動車購入費等
- ・緊急小口資金：緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に必要な生活費

●制服リユース事業（自主財源事業）

不要になった中学校、高校の制服を提供していただき、当会でクリーニング保管し、希望する困窮世帯等は無償で提供し子育て世代の負担軽減に努めた。今年度も平日に仕事や部活等で来所できない世帯のため、休日開催を実施した。

(単位:世帯)

内 容 \ 年 度	令和7年度	令和6年度	比 較
提供した世帯	108	104	4
寄付してくれた世帯	78	75	3

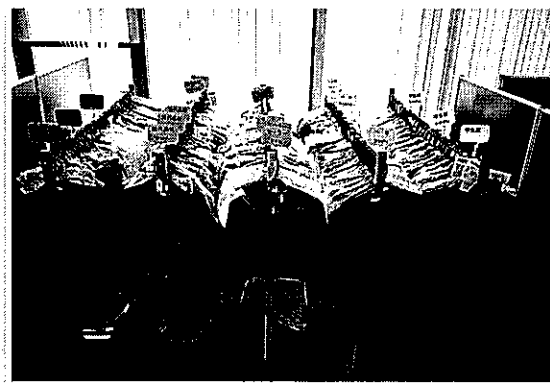
■休日開催

(単位:世帯)

内 容 \ 開催日	令和7年9月21日(日)	令和8年2月8日(日)	合 計
提供した世帯	10	25	35
寄付してくれた世帯	11	19	30

<事業概要>

市内中学校・高校の不要になった制服を提供していただき、本会でクリーニング・保管し、対象者に無償で提供することで子育て世代で生活に困窮している世帯等の負担軽減を図ります。



●フードバンク・フードドライブ事業（自主財源事業）

連携先からの食料品を譲り受け、生活困窮世帯に無償で提供した。

内 容 \ 年 度	令和7年度	令和6年度	比 較
世 帯	146世帯	161世帯	▲ 15世帯
人 数	202人	274人	▲ 72人

<事業概要>

民間事業者等から食料品などの寄付を受け付け、また市民の皆さまからはファミリーマートを通して寄付していただいた食料品を生活困窮者等に無償で提供します。生活のあり方をともに考えながら自立に向け支援します。



●無料法律相談事業（共同募金配分事業）

弁護士による専門的な法律相談を毎月実施した。

■相談実人数

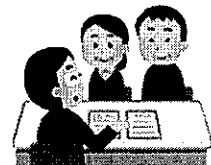
（単位：人）

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	59

<事業概要>

弁護士による無料相談会を毎月実施します。

法律の専門家である弁護士が市民の皆様の相談に応じます。（毎月5名）



●高齢者世帯住宅小破修理事業（共同募金配分事業）

高齢者世帯の日常生活の場を確保し、住み慣れた住宅に安心して暮らせるよう応急修理について助成した。

内 容 \ 年 度	令和7年度		令和6年度		比 較	
助成件数・金額	30件	2,290,979円	28件	2,084,955円	2件	206,024円

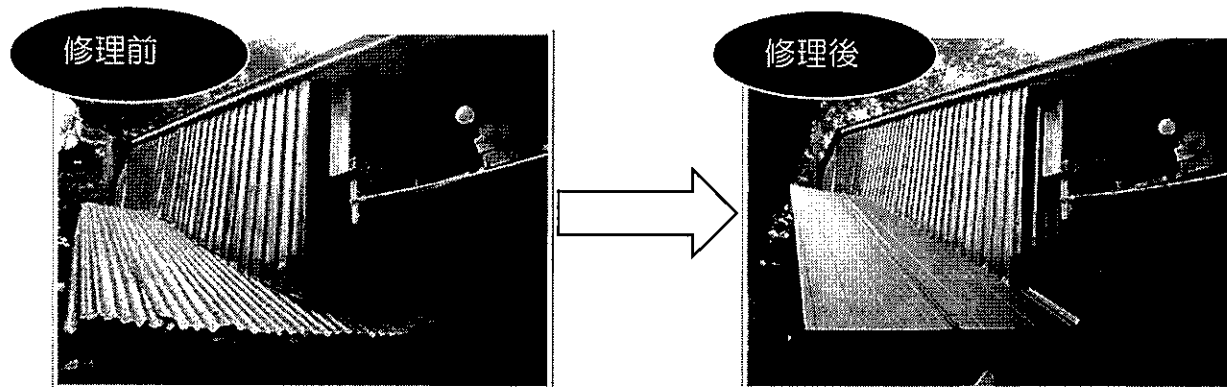
修理内容	件数	金 額
屋根関係修理	7件	630,000円
窓・外壁関係修理	5件	295,700円
床・天井関係修理	9件	791,100円
水道関係修理	1件	65,835円
玄関・勝手口修理	3件	193,200円
そ の 他	5件	315,144円
合 計	30件	2,290,979円

<事業概要>

住み慣れた自宅安心して暮らせるように必要最小限の応急修理費を助成します。

<応急修理の範囲>

- ・屋根、柱、床、外壁等の破損、ドア、窓等の開口部の破損
 - ・上下水道、電気、ガス等の配管、配線の破損、衛生設備の破損
- ※居住する部分の小破修理であり、車庫・物置等の非居住部分は除く。
また、介護保険の住宅改修の支給対象となるものも除く。



●避難行動要支援者避難支援訓練事業（共同募金配分事業）

実施日時:令和7年8月28日(木)午後2時～午後3時

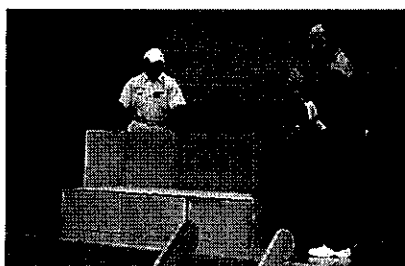
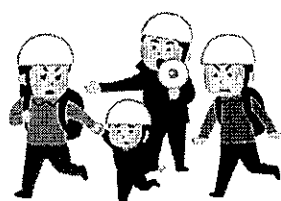
実施地域:榊地区自治会連合会

内 容:避難所の設営について

参加者 :約100名

<事業概要>

災害時における要支援者の避難支援体制を地域住民と一緒に考え、いざという時の支え合う体制を確認するとともに、日頃から要支援者等の見守りなど地域で支える体制整備に努めます。



●歳末たすけあい事業（自主財源事業）

経済的に援助を必要とする世帯等に希望を持って新年を迎えることができるよう支援した。

区 分	内 容	金 額
要援護高齢者世帯	10,000円×58世帯	580,000円
生活困窮者自立支援対象世帯	10,000円×13世帯	130,000円
準要保護児童生徒	児童(小)図書カード1,000円×299名	299,000円
	生徒(中)図書カード1,500円×216名	324,000円
在宅知的障がい者	5,000円×277人	1,385,000円
在宅重度障がい者	5,000円×7人	35,000円
合 計		2,753,000円

<事業概要>

経済的に援助を必要とする世帯等が希望を持って新年を迎えることができるよう、歳末たすけあい募金の中から支援します。

【対象】・要援護高齢者世帯

・要援護子育て世帯

・生活困窮者世帯

・在宅障がい児・者



●災害見舞金支給事業（自主財源事業）

罹災世帯に見舞金を支給した。

発生年月日	区 分	状 況	場 所	世帯(人数)	見舞金
令和7年5月17日	火 災	全焼	須田	1世帯(2人)	20,000円
令和7年7月21日	火 災	全焼	鶴形	3世帯(4人)	60,000円
	火 災	半焼	〃	1世帯(1人)	10,000円
令和7年8月20日	水 害	床上浸水	須田・清助町	2世帯(5人)	20,000円
合 計				7世帯(12人)	110,000円

4.介護保険事業等の安定経営【重点事業】

●居宅介護支援事業（自主財源事業）

利用者が安心して生活できるよう相談に応じ、自立を支援する居宅サービス計画（ケアプラン）の作成、事業所との連絡・調整を行った。

■利用者延人数

（単位：人）

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	256	253	252	254	248	257	253	253	244	247	239	244	3,000
令和6年度	220	230	224	224	230	228	227	240	264	250	244	250	2,831
比 較	36	23	28	30	18	29	26	13	▲ 20	▲ 3	▲ 5	▲ 6	169

■介護度別利用者延人数

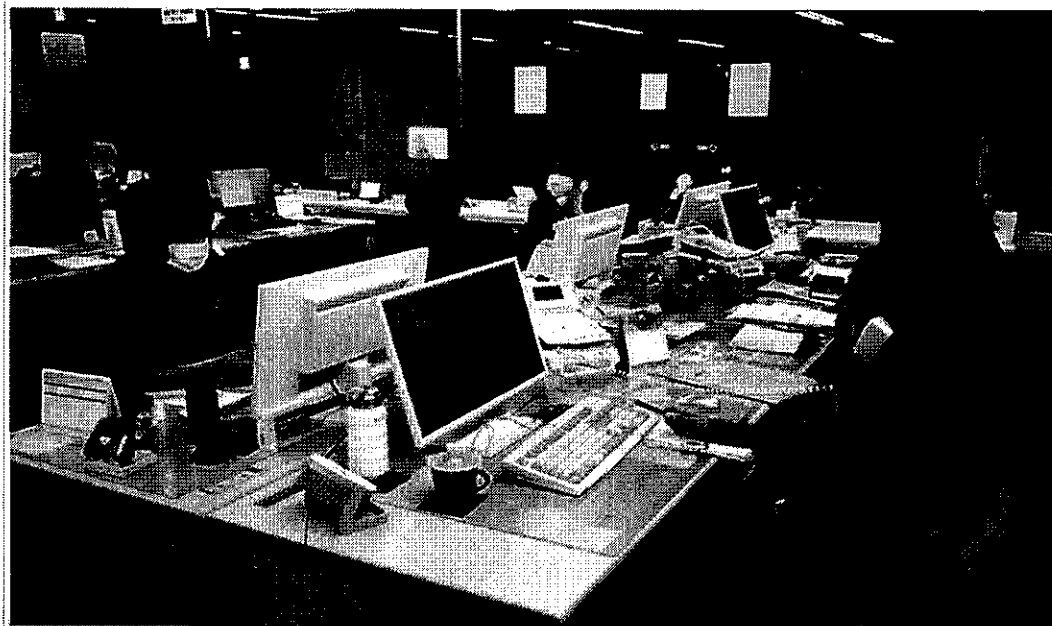
（単位：人）

年 度 \ 介護度	要支援1 (事業対象者含)	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	月平均
令和7年度	188	391	1,011	553	419	307	131	3,000	250.0
令和6年度	174	369	950	592	339	279	128	2,831	235.9
比 較	14	22	61	▲ 39	80	28	3	169	14.1

<事業概要>

介護支援専門員が、相談に応じ、自立を支援する居宅サービス計画（ケアプラン）の作成、事業所との連絡・調整などを行います。

〔居宅介護支援事業所〕能代市上町12-32（能代ふれあいプラザ内）



●訪問介護事業（自主財源事業）

利用者が可能な限り居宅において、自立した日常生活を営むことができるように入浴、排せつ、食事の介助、その他全般にわたる援助を行った。

■利用者延人数

(単位:人)

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	622	636	624	654	611	647	651	605	634	578	532	592	7,386
令和6年度	736	773	694	765	698	706	791	734	728	647	582	627	8,481
比 較	▲ 114	▲ 137	▲ 70	▲ 111	▲ 87	▲ 59	▲ 140	▲ 129	▲ 94	▲ 69	▲ 50	▲ 35	▲ 1,095

■介護度別利用者延人数

(単位:人)

年 度 \ 介護度	要支援1 (要介護対象者含)	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	1日平均
令和7年度	1,139	1,192	2,386	1,475	999	102	93	7,386	20.2
令和6年度	1,679	1,785	1,995	1,840	971	108	103	8,481	23.2
比 較	▲ 540	▲ 593	391	▲ 365	28	▲ 6	▲ 10	▲ 1,095	▲ 3

障害福祉サービス(居宅介護事業)

■利用者延人数

(単位:人)

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	40	42	34	39	34	37	36	31	34	28	26	26	407
令和6年度	43	51	50	48	40	46	39	42	37	37	33	36	502
比 較	▲ 3	▲ 9	▲ 16	▲ 9	▲ 6	▲ 9	▲ 3	▲ 11	▲ 3	▲ 9	▲ 7	▲ 10	▲ 95

<事業概要>

○訪問介護事業

利用者（要介護者等）が、可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、生活援助のほか、入浴、排せつ、食事の介助等の援助を行います。

○居宅介護事業

障がい福祉に関する利用者が自立した日常生活を送ることができるようヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助の実施、また生活等に関する相談及び助言等のサービスを提供します。

〔訪問介護事業所〕能代市上町12-4



通所介護事業

利用者の孤立感の解消や心身機能の維持、家族の介護負担の軽減を目的にサービスを提供した。

●ニツ井デイサービスセンター事業（自主財源事業）

利用者定員:35人

■利用者延人数

(単位:人)

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	756	803	772	770	707	757	763	666	715	607	523	657	8,496
令和6年度	775	830	769	848	801	683	870	785	754	708	670	725	9,218
比 較	▲ 19	▲ 27	3	▲ 78	▲ 94	74	▲ 107	▲ 119	▲ 39	▲ 101	▲ 147	▲ 68	▲ 722

■介護度別利用者延人数

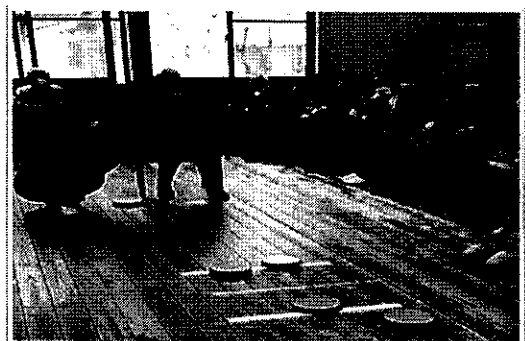
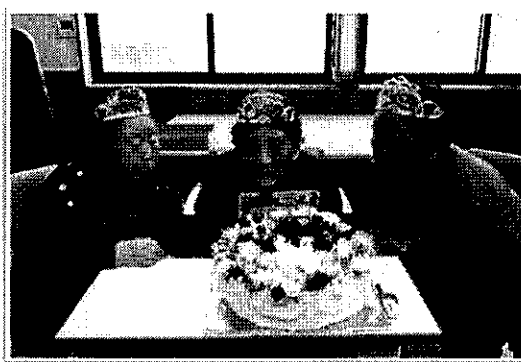
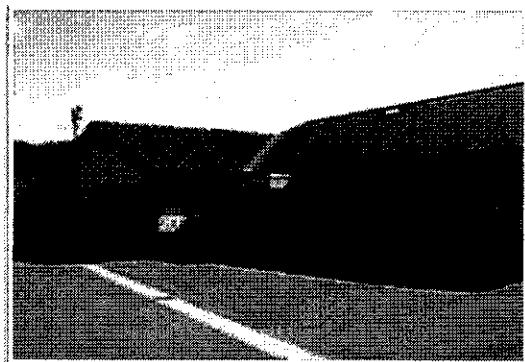
(単位:人)

年 度 \ 介護度	要支援1 (事業対象者含)	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	1日平均
令和7年度	264	1,246	3,101	2,519	886	266	214	8,496	27.5
令和6年度	394	962	3,266	2,422	1,499	386	289	9,218	29.8
比 較	▲ 130	284	▲ 165	97	▲ 613	▲ 120	▲ 75	▲ 722	▲ 2.3

<事業概要>

利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。

〔ニツ井デイサービスセンター〕 能代市ニツ井町字三千町44-34



●緑町デイサービスセンター事業（市指定管理事業）

利用者定員:45人

■利用者延人数

(単位:人)

月 年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	1,009	1,009	850	1,047	986	1,046	1,078	988	1,064	945	965	1,020	12,007
令和6年度	772	813	832	902	928	908	968	914	909	840	805	964	10,555
比 較	237	196	18	145	58	138	110	74	155	105	160	56	1,452

■介護度別利用者延人数

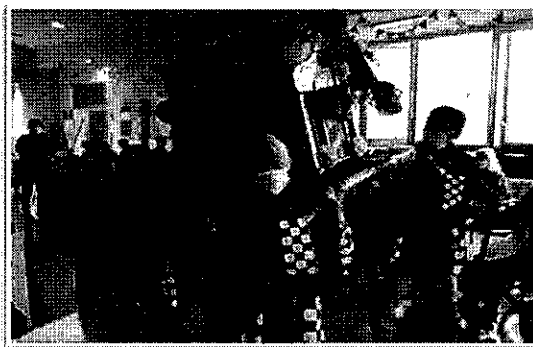
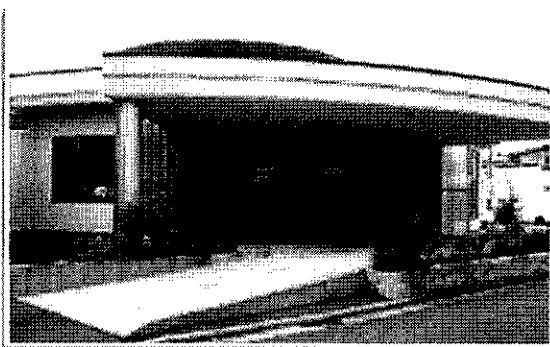
(単位:人)

介護度 年 度	要支援1 (事業対象者含)	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	1日平均
令和7年度	726	771	5,799	3,315	658	366	372	12,007	38.9
令和6年度	542	481	4,915	2,411	1,114	296	796	10,555	34.2
比 較	184	290	884	904	▲ 456	70	▲ 424	1,452	4.7

<事業概要>

利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。

〔緑町デイサービスセンター〕 能代市緑町7-17



●ふれあいデイサービスセンター事業（市指定管理事業）

利用者定員:35人

■利用者延人数

(単位:人)

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	654	672	715	847	807	771	850	758	744	732	758	780	9,088
令和6年度	623	695	659	648	682	675	700	668	673	595	488	678	7,784
比 較	31	▲ 23	56	199	125	96	150	90	71	137	270	102	1,304

■介護度別利用者延人数

(単位:人)

年 度 \ 介護度	要支援1 (事業対象者含)	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	1日平均
令和7年度	544	1,084	3,120	2,730	954	642	14	9,088	29.5
令和6年度	509	506	2,892	2,533	767	577	0	7,784	25.1
比 較	35	578	228	197	187	65	14	1,304	4.4

障害福祉サービス(基準該当生活介護サービス事業)

■利用者延人数

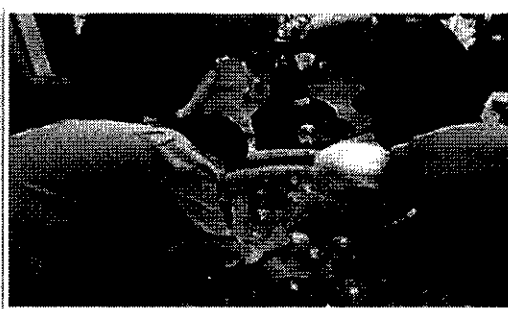
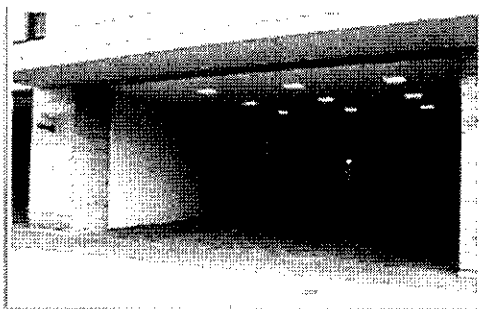
(単位:人)

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	29	43	38	31	38	34	35	34	32	28	8	27	377
令和6年度	36	33	36	34	36	32	37	31	29	21	19	33	377
比 較	▲ 7	10	2	▲ 3	2	2	▲ 2	3	3	7	▲ 11	▲ 6	0

<事業概要>

利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。

〔能代ふれあいデイサービスセンター〕 能代市上町12-32（能代ふれあいプラザ内）



●緑町グループホーム事業（市指定管理事業）

入居者定員:9人

認知症の高齢者が共同で生活する住宅において、入浴、排せつ、食事等の介助、その他日常生活上のお世話、機能訓練を行った。

■利用者延人数

(単位:人)

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	270	279	270	279	279	264	269	270	279	279	252	279	3,269
令和6年度	270	279	270	279	268	247	279	261	278	279	252	253	3,215
比 較	0	0	0	0	11	17	▲ 10	9	1	0	0	26	54

■介護度別利用者延人数

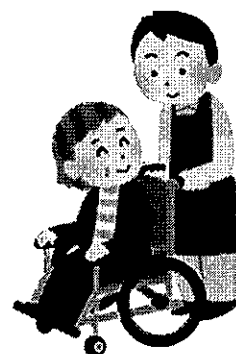
(単位:人)

年 度 \ 介護度	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	1日平均
令和7年度	0	882	1,385	790	212	0	3,269	9.0
令和6年度	0	730	1,753	202	382	148	3,215	8.8
比 較	0	152	▲ 368	588	▲ 170	▲ 148	54	0.2

<事業概要>

認知症の高齢者が共同で生活する住居において、入浴、排せつ、食事等の介助、その他の日常生活上のお世話、機能訓練を行います。

〔緑町グループホーム〕能代市緑町7-17



●松籟荘事業（市指定管理事業）

入所者定員:70人

身体的・精神的または経済的な理由などにより自宅での生活が困難な65歳以上の高齢者に、心身の健康保持等自立した日常生活を営むことができるよう支援した。

■利用者実人数

(単位:人)

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1ヶ月平均
令和7年度	68	70	70	70	70	70	70	70	69	70	69	70	69.7
令和6年度	69	68	67	68	68	69	69	70	70	67	68	68	68.4
比 較	▲ 1	2	3	2	2	1	1	0	▲ 1	3	1	2	1.3

一般型特定施設

利用者定員:30人

要介護状態になった場合でも、引き続き松籟荘での生活をこれまでと同様に安心して営むことができるように、一般型特定施設として24時間必要なサービスが受けられる体制を強化し、個々のニーズにあった介護サービスを包括的に提供した。

■利用者延人数

(単位:人)

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	799	884	911	939	899	840	850	875	928	917	897	918	10,657
令和6年度	899	895	826	837	837	864	930	898	902	909	839	915	10,551
比 較	▲ 100	▲ 11	85	102	62	▲ 24	▲ 80	▲ 23	26	8	58	3	106

■介護度別利用者延人数

(単位:人)

年 度 \ 介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	1日平均
令和7年度	5,114	1,993	3,272	473	62	10,914	29.9
令和6年度	4,917	1,942	3,163	467	62	10,551	28.9
比 較	197	51	109	6	0	363	1.0

<事業概要>

65歳以上で、生活環境及び経済的理由により、居宅において生活することが困難な方の入所施設であり、入所者の心身の健康保持等自立した日常生活を営むことができるよう支援します。

〔養護老人ホーム松籟荘〕能代市緑町9-41



●松原ホーム事業（市指定管理事業）

入所定員:10世帯

入所者の安心・安全な生活を確保するとともに、一日も早い経済的・精神的自立ができるよう支援した。

■利用者実世帯数

(単位:世帯)

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1ヶ月平均
令和7年度	6	6	6	6	5	5	4	4	3	3	3	3	4.5
令和6年度	4	4	4	4	4	3	3	3	4	6	7	6	4.3
比 較	2	2	2	2	1	2	1	1	▲1	▲3	▲4	▲3	0.2

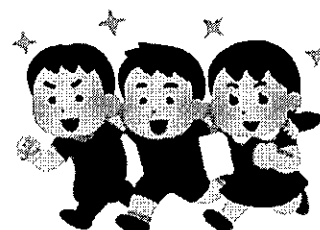
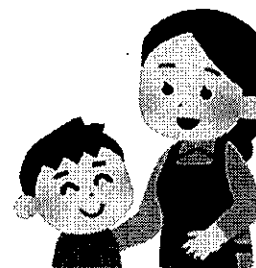
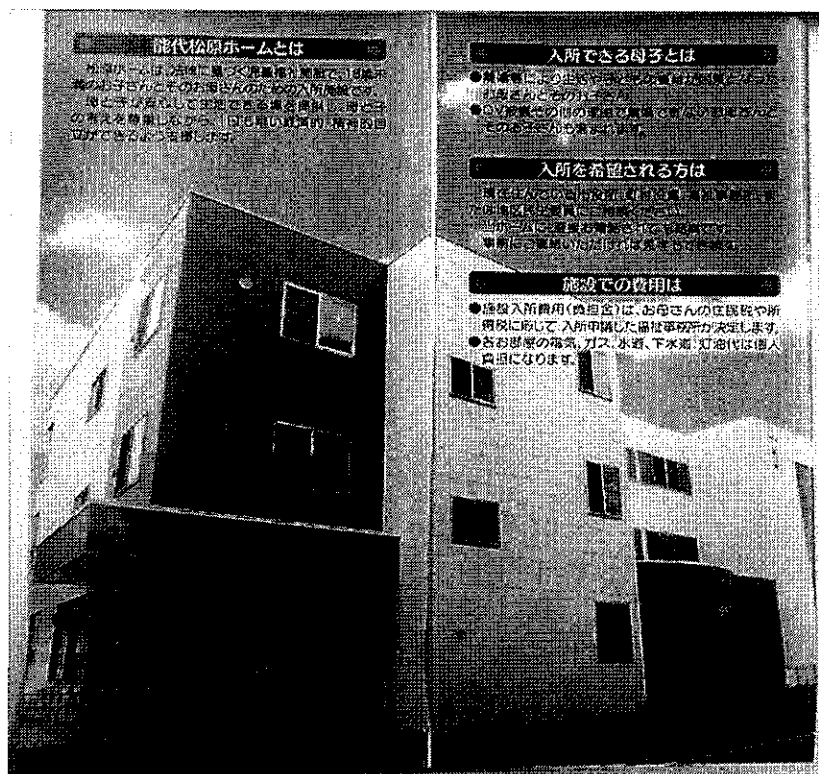
■入所者実人数

(単位:人)

年 度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	14	14	14	14	12	12	9	9	6	6	6	6	122
令和6年度	11	11	11	11	11	9	6	6	9	14	17	14	130
比 較	3	3	3	3	1	3	3	3	▲3	▲8	▲11	▲8	▲8

<事業概要>

18歳未満の子どもを養育している母子家庭などの安心・安全な生活を確保するとともに、一日も早い経済的・精神的自立ができるよう支援します。



事業報告の附属明細書

社会福祉法第59条第1号に基づき報告する令和7年度事業報告の附属明細については、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、作成していない。

社会福祉法人能代市社会福祉協議会

会 長 鎌田 耕次